

2021年3月29日

各位

ENEOSホールディングス株式会社

全国社会福祉協議会への寄付について

当社（社長：大田 勝幸）は、社会福祉法人全国社会福祉協議会（以下、「全社協」）に、児童福祉施設等の子どもたちへの進学を支援する目的として、7,360万円を寄付いたしますので、お知らせいたします。

ENEOSグループでは、ENEOS童話賞にて佳作以上を受賞した作品を童話集「童話の花束」※として発行し、ENEOSのサービスステーションを運営する特約店、LPガ斯特約店の皆様やグループ各社の役員および従業員にチャリティー販売を行っております。本件は、その売上金すべてを全社協に寄付し、全社協が設立した「ENEOS奨学助成制度」を通じて、児童福祉施設等で暮らす子どもたちの大学や専門学校への進学を支援するものです。

当社は、今後も様々な活動を通じて、社会の発展と活力ある未来づくりを推進するとともに、持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）の達成に貢献してまいります。

<関連する持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）>

- ・目標1 貧困をなくそう
- ・目標4 質の高い教育をみんなに
- ・目標10 人や国の不平等をなくそう
- ・目標15 陸の豊かさも守ろう



以上

※「童話の花束」の作成には森林整備の中で生じた間伐材を製紙原料の一部に使用しております。

<ご参考> 児童福祉施設等の子どもたちへの進学支援について

当社は、ENEOS童話賞受賞作品集「童話の花束」を子どもたちのために役立てたいと考え、全社協のご協力のもと、1992年から童話集の売上金を児童福祉施設等の子どもたちの支援に活用してまいりました。

2004年からは、「ENEOS奨学助成制度」の運営資金として売上金を寄付し、全国の児童福祉施設等で暮らす子どもたちが、大学や専門学校へ進学する際の入学支度金として、1人あたり10万円を助成しています。2020年度の助成者数は約760名の予定で、これまでの助成者数は合計約7,200名となります。

児童福祉施設等の子どもたちは、高校卒業後、自立の道を歩みます。大学・専門学校に進学したくても、経済面や生活面の不安から断念せざるを得ない場合が多く、進学率には大きな格差があります。

今後も当社は、「ENEOS奨学助成制度」を通して、子どもたちの進学を金銭面から援助し、子どもたちが進学を諦めることなく、将来、社会的に自立できるよう支援を続けてまいります。

